

大規模地震に備え、危険箇所の現地点検

概要と目的

大規模地震の発生に備え、発災時に指揮を執る者を中心に施設の被災危険箇所、第三者被害の可能性がある箇所及び応急復旧方法を事前に把握するため、現地を点検しました。

点検施設

○ 大規模地震アクションプログラムで整理しているハザードマップをもとに水路の損傷による溢水で、浸水が想定される範囲を重点的に点検。



水路施設周辺の現状（宅地造成等）や浸水想定範囲を地形的・構造的に確認することができた。

○ 施設が被災することにより、第三者被害が想定される箇所を重点的に点検。



重要施設の状態を早期に把握するためのカメラ設置や調整池漏水量の自動計測器の設置検討を行うこととした。

点検を終えて

実際に現地を確認することによって、施設周辺の現状や交差する工作物及び地形等が把握し、災害時の被災状況をイメージすることができました。

これにより、発災時には本部から正確に指揮することが可能となると考えます。引き続き災害に備えた取り組みをすすめていきます。

